

**令和4年度  
新型コロナ禍に関する支援措置及び要望  
に関するフォローアップアンケート調査結果**

**2022年8月**

**一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター**

## 【調査概要】

**\*調査期間**

令和4年8月15日 ~ 8月25日

**\*調査方法**

記入式調査（電子メールで送付・回収）

**\*対象**

C-ASTECが3月に実施したアンケート調査において、雇用調整助成金(対象企業の全てが利用)、産業雇用安定助成金及び中小企業向けの制度融資を活用していると回答した企業35社

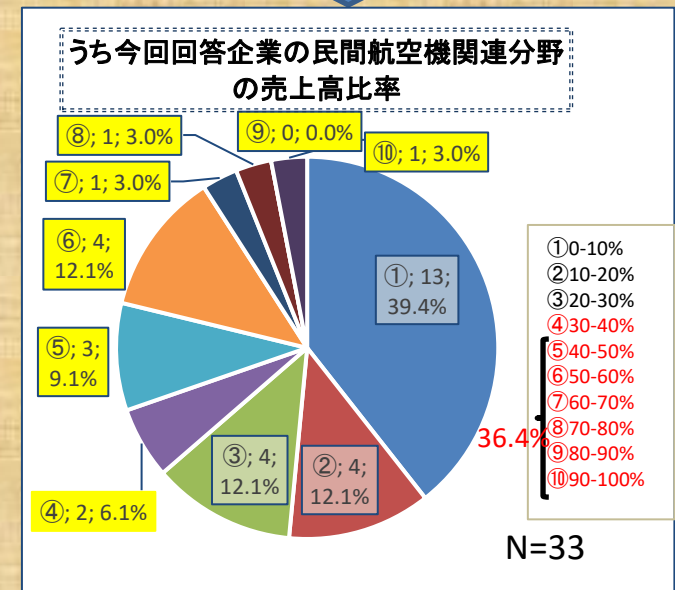
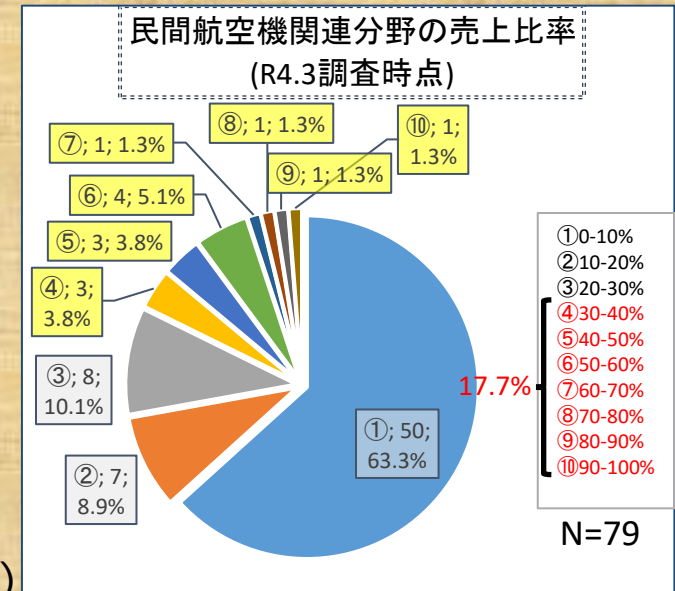
**\*回答数**

34社（回答率 97.1%）

**\*回答企業内訳**

- ・ 中小企業 34社（回答企業中 100%）
- ・ 所在地
 

愛知県	22社	（回答企業中	70.6%）
岐阜県	3社	（回答企業中	8.8%）
三重県	3社	（回答企業中	8.8%）
その他	5社	（回答企業中	11.8%）

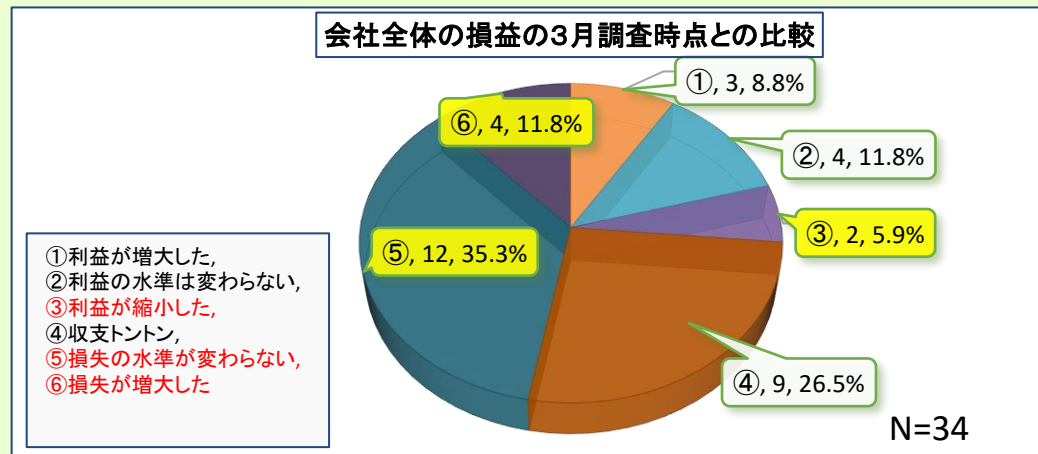
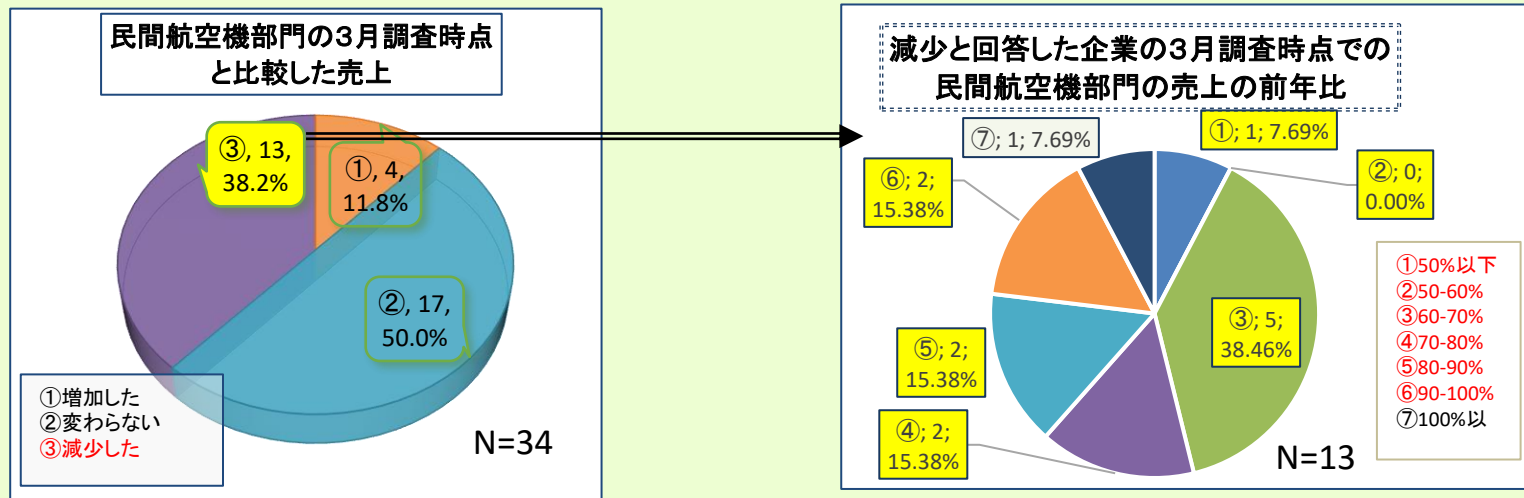


## 調査結果の要旨

- 経営状況については、3月の調査時点と比べて、売上、収益及び雇用状況が悪化するなど依然として回復の兆しが見えない企業が回答企業の半数以上を占める。
- 現行のコロナ対策経済支援策については、ほとんどの企業がその延長を望んでおり、特に4割強の企業では、経営を維持するためにその存続が不可欠。
- 個別施策の延長要望として、雇用調整助成金の延長(9割強)、低利融資制度(約6割)、事業再構築補助金(6割弱)、特定リスケジュール制度(5割弱)。特定リスケジュール制度については、利用者の全てが最優先に延長を望む施策としている。
- 具体的に延長等の要望として  
雇用調整助成金については、1年以上の延長を、低利融資制度については据置期間の延長、実質無利子制度の期間・枠の拡大を求める声が多い。  
特定リスケジュール制度については、2年以上の延長を求める声が多い。
- 自由意見としては、人材の円滑な確保のための施策充実や防衛省や大企業に対する取引条件の改善を求める声がある。

# 1. 回答企業の経営状況 ①売上・損益

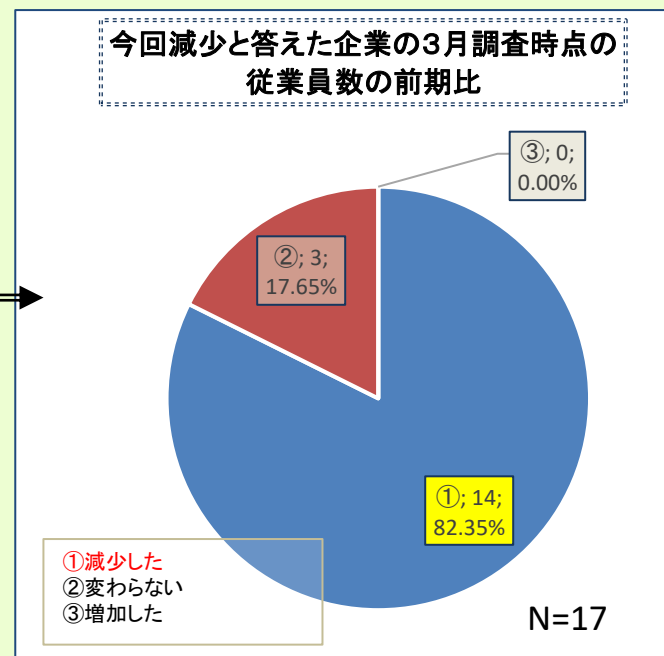
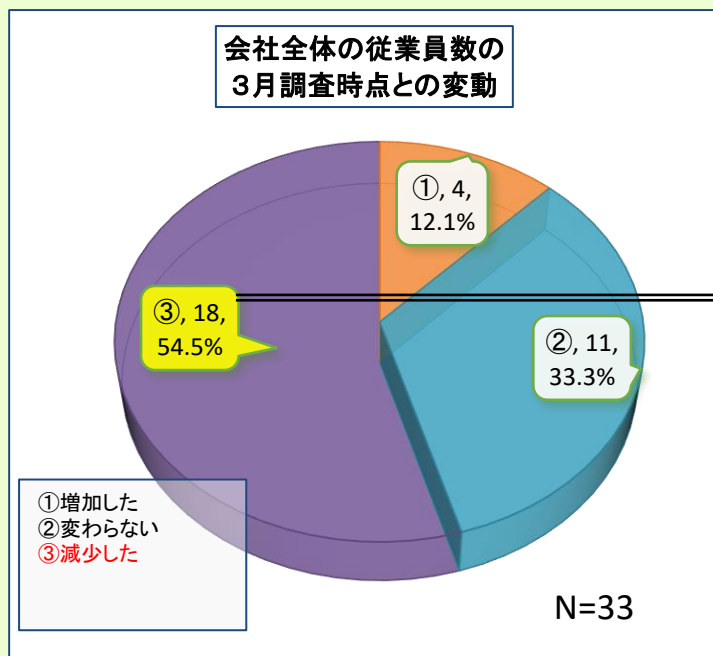
- 3月調査時点と比べて航空機関連分野の売上が減少した回答して企業が約4割を占めており、それらの企業のほとんどが3月調査時点でも前年比が減少したと答えた企業。
- 会社全体の損益についても、3月時点より悪化したと答えた企業が半数以上。



# 1. 回答企業の経営状況

## ②雇用状況

□ 3月調査時点と比べて従業員数が減少とした企業が半分以上を占め、それらの企業の8割以上が3月調査時点でも前年より減少したと回答。

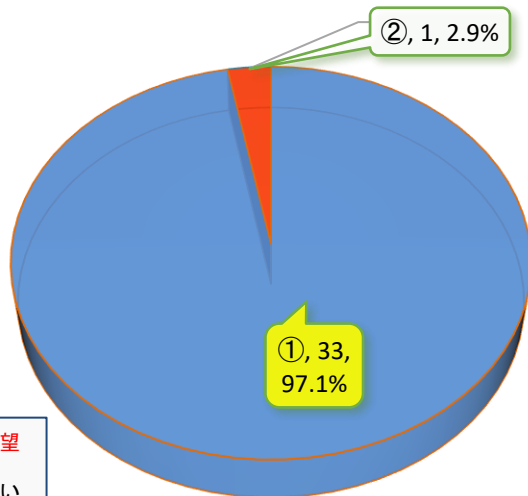


## 2. 支援施策の延長に係る要望

### ① コロナ対策支援施策の延長の必要性とその経営への影響

- 現行の支援施策の延長については、ほとんどの者が希望。
- 現行の支援施策がなくなると経営の維持が困難となる企業が4割強

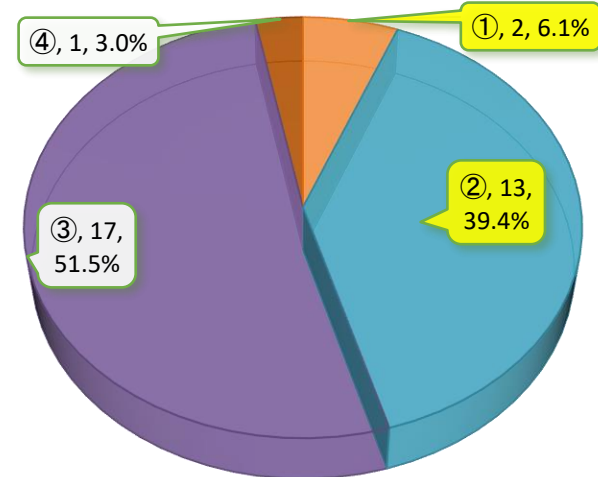
現行支援施策の延長の必要性



- ① 延長を望む
- ② 必要ない

N=34

支援策がなくなった場合の経営への影響



- ① 経営が維持できない,
- ② 経営を維持するためには抜本的な対策が必要,
- ③ 少し苦しくなるが経営の維持は可能,
- ④ 経営には大きな支障はない,

N=33

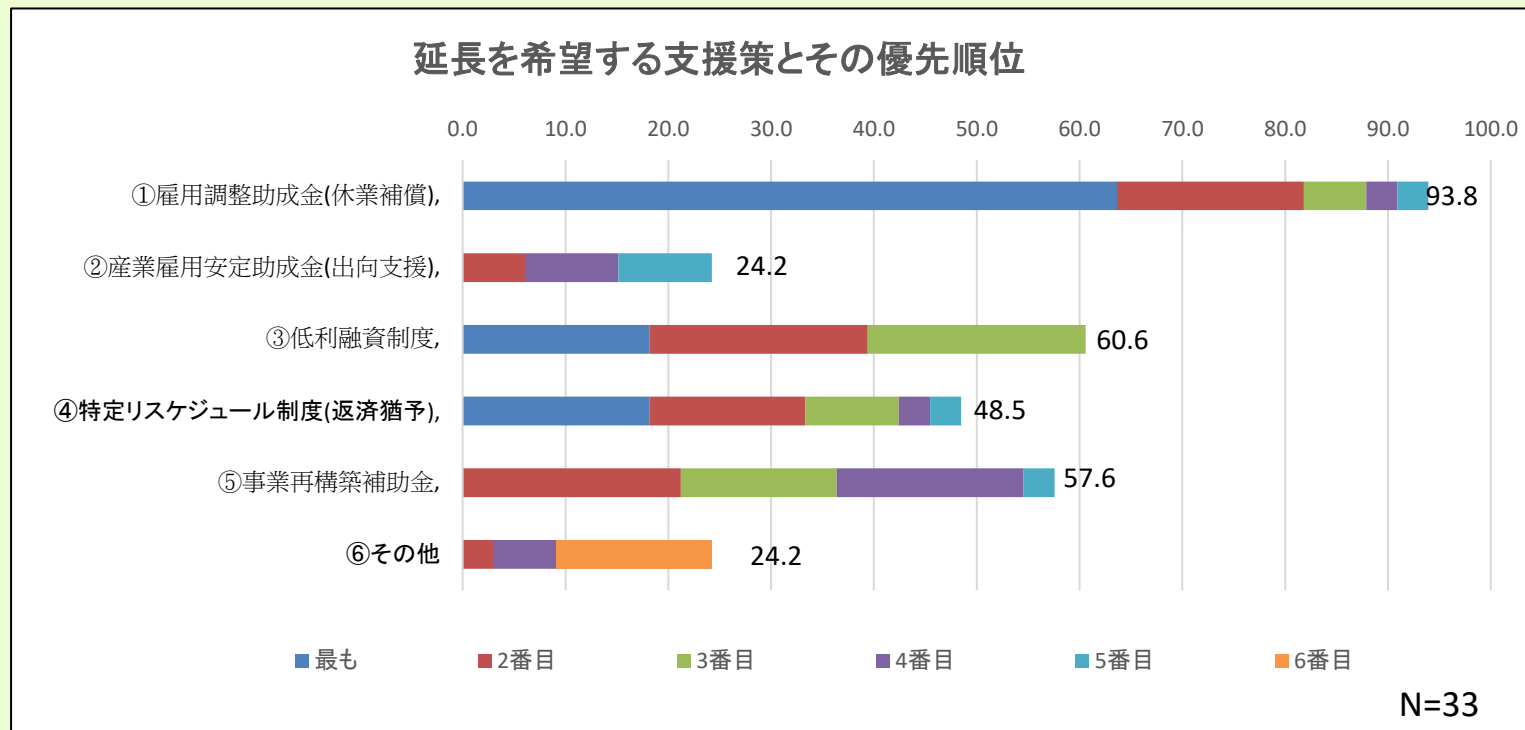
### 企業の声

航空業界はコロナ支援策の延長がまだまだ必要な状況です。コロナ前の状況に回復するには、後2・3年が必要になります。その中でも、雇用調整助成金の10月以降の延長は必須です。何卒、宜しくお願い申し上げます。”

## 2. 支援施策の延長に係る要望

### ②延長を希望する現行支援施策とその優先順位

- 雇用調整助成金は、調査対象企業の全てが現在活用しているが、9割を超える者がその延長を希望。続いて6割の者が中小企業低利融資制度の延長を希望しており、次いで事業再構築補助金、特定リスクスケジュール制度が半数以上者が延長を希望。
- 特定リスクスケジュール制度については、現在、同制度を活用している者は全て最優先と回答。希望者総数としては4番目であるが、最優先に希望する支援策としては低利融資制度の延長と同数で2番目に多く、約2割を超える者が回答。

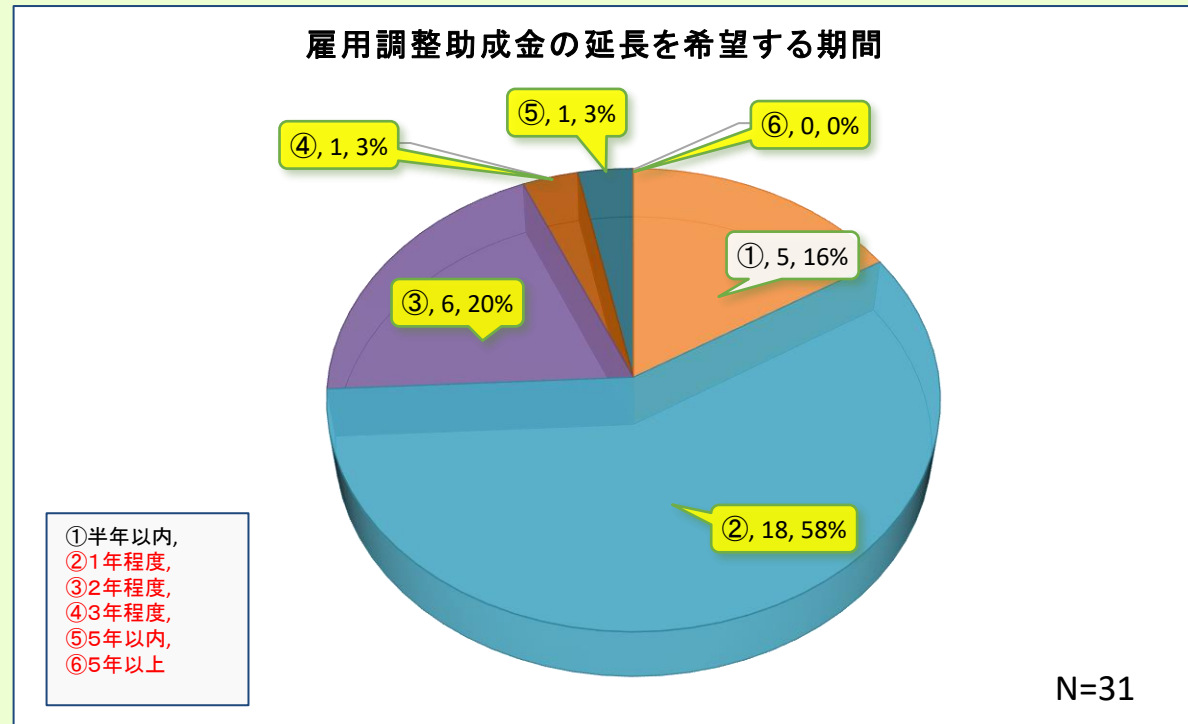


## 2. 支援施策の延長に係る要望

### ③ 支援施策毎の要望

### (1) 雇用調整助成金

□雇用調整助成金の特例措置の延長については、8割強の者が1年以上の延長を希望。



### 期待される改善点等

1 雇用調整助成金を使いたい規模2. 5%を満たさなくなりそうで使用出来ない



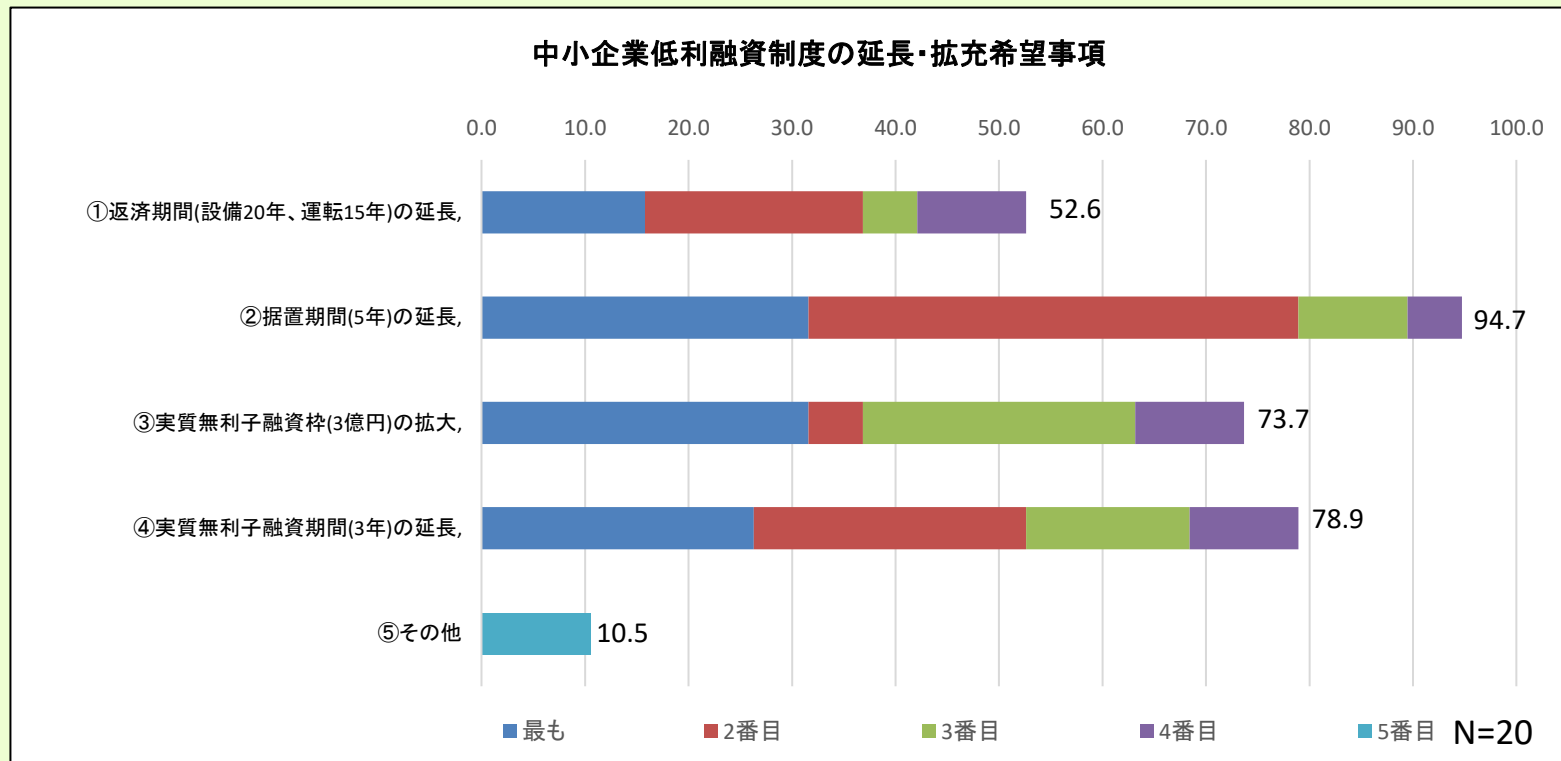
## 2. 支援施策の延長に係る要望

### ③ 支援施策毎の要望

### (2) 中小企業向けの低利融資制

□ 制度の延長・拡充について、9割強と最も多くの企業が希望しているのは「据置期間(5年間)の延長」、次いで、約8割が「実質無利子融資期間(3年間)の延長」、7割強が「実質無利子融資枠(3億円)の拡大」を希望。

□ 最も優先して希望する事項としては、「据置期間(5年間)の延長」と「実質無利子融資枠(3億円)の拡大」が同数の3割が希望。



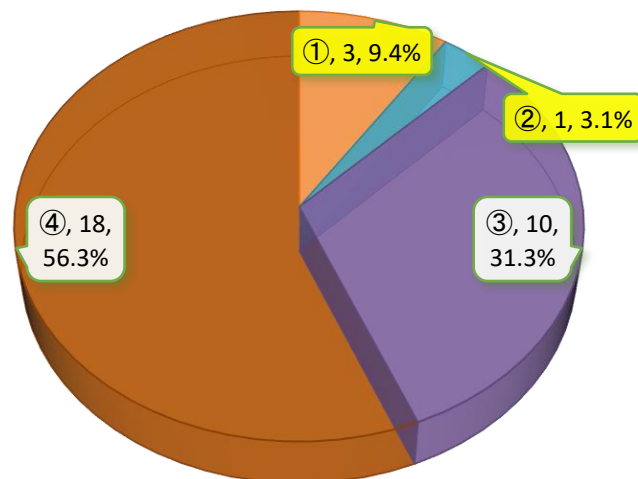
## 2. 支援施策の延長に係る要望

### ③ 支援施策毎の要望

### (3) 特定リスケジュール制度

- 特定リスケジュール制度については、利用又は利用検討中は、1割強。
- 利用又は利用検討中の者は、2年以上の制度の延長を希望。

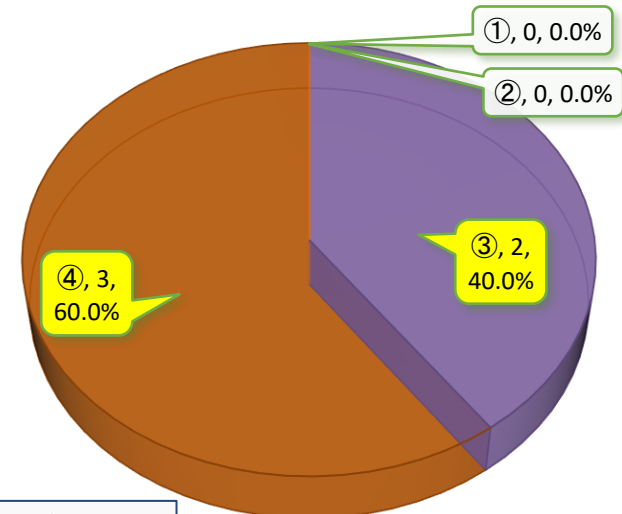
特定リスケジュール制度の利用状況



- ①使っている,
- ②活用を検討(知っている),
- ③知っているが使わない,
- ④知らない

N=32

特定リスケジュール制度の延長を希望する期間



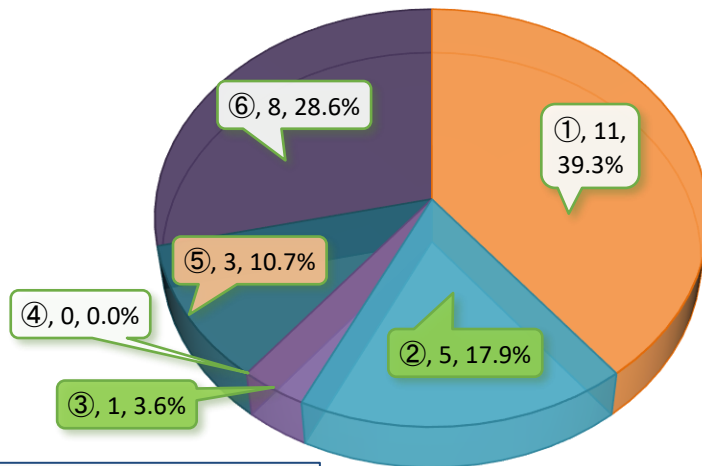
- ①もう必要としない,
- ②1年延長してほしい,
- ③2年は延長してほしい,
- ④3年以上延長してほしい

N=5

### 3. 支援施策の活用状況 (1) 融資の借換について

- 既存融資の借換えを実施した企業は約2割。約1割の企業は希望したものの応じてもらえていない。  
□既存融資の借換え一本化についても、2割弱の企業が実施したが、約1割弱の企業は応じてもらえていない。

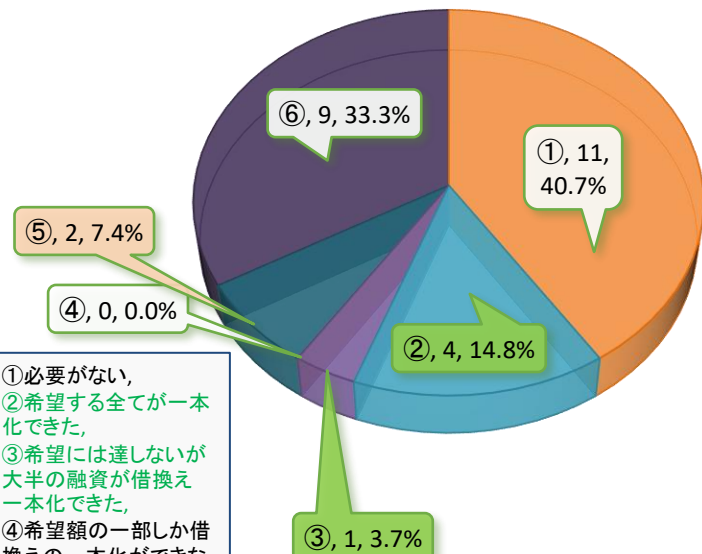
#### 既存融資の借換え



- ① 必要がない,
- ② 希望した全て借換えられた,
- ③ 希望額には達しないが大半の融資が借換えられた,
- ④ 希望額の一部しか借換えられなかった,
- ⑤ 全く応じてもらえなかった,
- ⑥ 制度を知らない

N28

#### 既存融資の借換え一本化



- ① 必要がない,
- ② 希望する全てが一本化できた,
- ③ 希望には達しないが大半の融資が借換え一本化できた,
- ④ 希望額の一部しか借換えの一本化ができなかった,
- ⑤ 全く応じてもらえなかった,
- ⑥ 制度を知らない

N=27

### 3. 国等への期待・要望 ①

#### □人材の円滑な確保のための支援策

- 航空機に関する人員はここ数年で1/5程度まで減少してきている。自動車関係の派遣に回したり、自主的に退職したりしており、現状は余剰人員居らず実質的には雇調金活用できる条件を休業人数的に満たしていない。逆に航空機の生産が元に戻るようだと言った経験者、人員共に不足してしまう状況。新卒採用等採用活動を再開してはいるが、**全く採用できない状況が続いている。今後は採用関係での支援も検討いただけると幸いです。**
- 旅行や出張で航空機の使用が上がっているが、本格的に製造現場での回復にはまだ2,3年かかる見通しである。その中で人員の確保は問題になっているが、他業界が好調のため、優秀な人材の流出が後を絶たない。また、**給与の差が非常に大きくなっている。ここを補うような助成金や補助金があるといい。**
- 国内の航空機機体製造の操業は低迷が続いており、回復は1年以上先になると思われる一方、一旦**操業が上がった時には、労働集約型の作業であることから人材不足が深刻化することは必至、**また、**雇用を維持する目的には、民需のみならず官需への対応もあることから、防衛産業を継続する意味も含め、確実なサポートを期待します。**
- 中小企業の従業員の所得税を免除、または減税して欲しい。

#### □防衛関連等の取引条件の改善

- 防衛産業の裾野を支えるため、管理費の割増等によるインセンティブ**を検討いただきたい。急激な材料費の高騰等もある中、顧客との値上げ交渉等もすんなりいかない面もあり、相当な業務負担となっている。そんな中、今後の防衛費増は非常にプラスと捉えるが、**二次サプライヤへの十分な反映もできる状況ではないため、製造キャパシティ面で、モチベーションの確保が懸念されているため。**
- 大企業の内部留保を下請け企業の価格改訂などに転嫁**するよう行政指導して欲しい。

### 3. 国等への期待・要望 ②

#### □認定等の取得／維持に関する費用の支援施策

○航空宇宙防衛産業特有の**認定・資格・免許などの取得／維持に関する費用の支援施策**を早急に施行願います。

#### □支援施策の手続きの簡素化

○各種支援施策が存在しており、ありがたいと感じている一方、有効活用、実行が出来ていない。  
(**申請書作成等の業務が煩雑、補助金に関しては採択が難しい**)のが実態かと思っています。  
また公表される経済状況と実態にギャップが有り、焦りを感じています。

#### □航空機産業のための事業資金制度の創設

○中小企業は、相当厳しい立場に置かれております、特に、金融機関の態度も厳しい状態です。  
航空機産業は、先々に破綻する会社が出てくると思いますので、**補助金とか助成金ではなく、公的資金**みたいな動きをして欲しい。